

PI圧力センサ

食品産業向け



製品プレゼンテーション

製品の説明

PI圧力センサ



彼の祖先は彼を誇りに思うでしょう。私たちもです。

さらに開発された高性能圧力センサをどのようにご紹介したらいいでしょうか。ハイジエニック対応のIP 69Kステンレス外装と、圧力ピークに耐えることができ、かつ自らの状態も絶えず監視するセラミック測定セルの堅牢な設計から始めましょうか。

それともより高い分解能に重点を置きたいですか？新しいPIは、IO-Linkを用いることで、約20,000ステップで圧力値を表示できます。プロセス産業でも非常に重要な機能です。最後になりましたが、PI圧力センサは最高150°Cの媒体温度に継続的に耐えることができます。さらに、インテリジェントなアルゴリズムによって急激な温度変化も補正します。

お分かりのように、向上したPIには非常に数多くの可能性とメリットがあります。さらにもう一つあります。新しい非常に優れた圧力センサを ifm.com/jp/PI で詳しくご覧ください。



製品のメリット

PIを選ぶ理由



性能

約20.000ステップの32ビット分解能で、プロセス値を詳細に表示します。



内蔵温度測定と補正

検出可能な媒体温度は最大150°C。補正機能で急激な温度変化にも対応。



仕様

IP69Kステンレス製外装は、食品産業で必要な要件を満たします。



診断機能の付いたセラミック測定セル

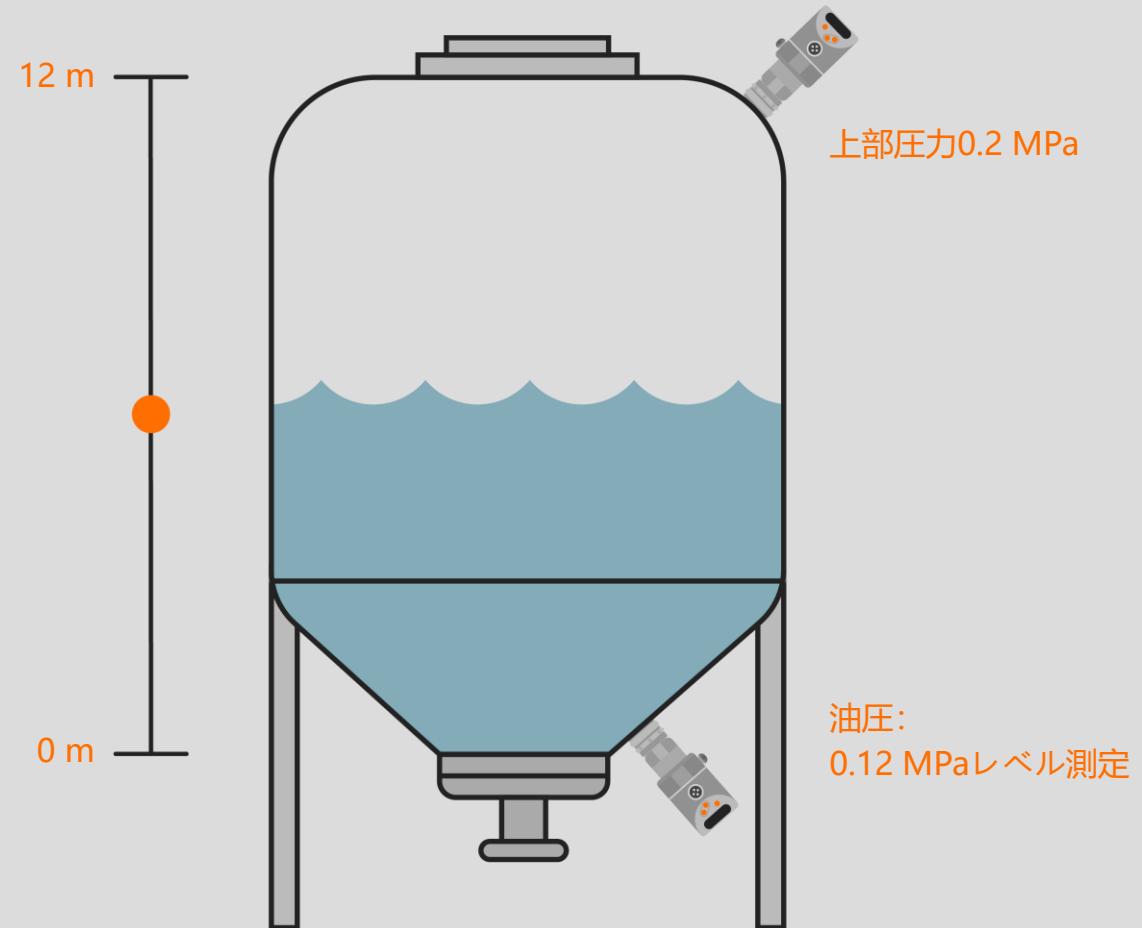
耐久性のあるセラミック測定セルに状態監視機能を搭載。



加圧タンクの正確なレベル監視

差圧測定を使用する例

- 12メートルの高さのレベルは、0.12 MPaに相当します。これは0.16 MPaセンサを使用して測定できます。
- 上部圧力0.2 MPaでは、測定範囲は少なくとも0.32 MPaまで増加するため、次の標準範囲である0.4 MPaが必要になります。
- 利用可能な分解能は0.4 MPaの測定範囲に広げる必要があります。つまり、標準の16ビット分解能では、0.16 MPaセンサと比較して刻みが少なくとも2倍になり、精度が犠牲になります。
- 32ビット分解能と約20,000ステップの新しいPIは、幅広い測定範囲にわたってプロセス値を詳細に表示します。

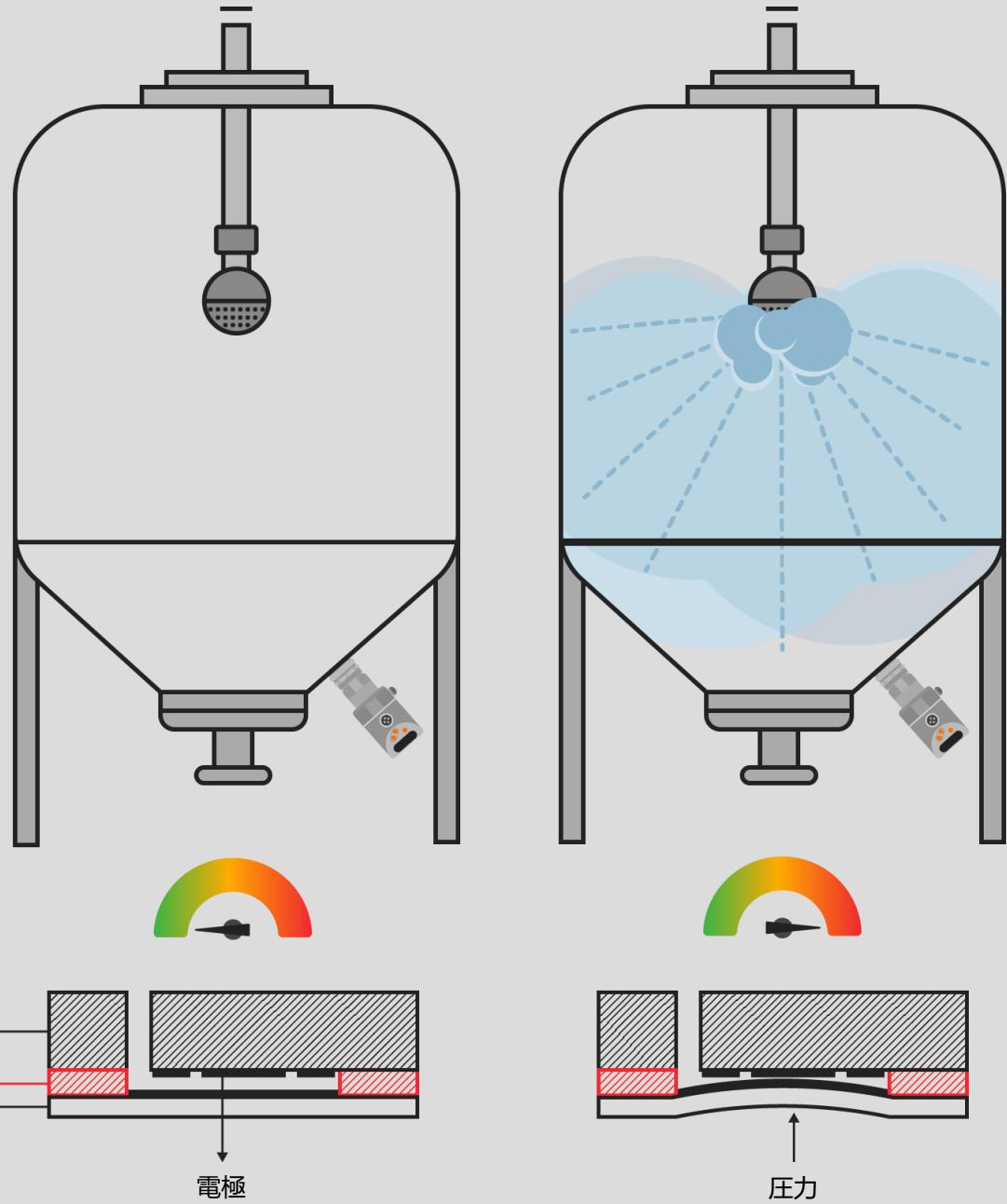


アプリケーション概要

スプレー ボール洗浄

過酷な条件: 動的圧力スパイクに対する耐性

- 測定セルのベースボディが、過圧が発生した際にメンブレンを支持
- そのため測定セルは、洗浄プロセスでよく発生する圧力ピークに耐えます
- 測定セルの状態は、内蔵の診断機能でいつでも出力



予備知識

IO-Linkを備えたその他の タンク監視用センサ



温度測定

重要管理点の監視（自己診断機能を備えた温度センサTCCによるCCP）



バルブ監視

バルブセンサMVQは、バルブ位置を継続的に監視し、摩耗や破損、詰まりを早期に認識可能



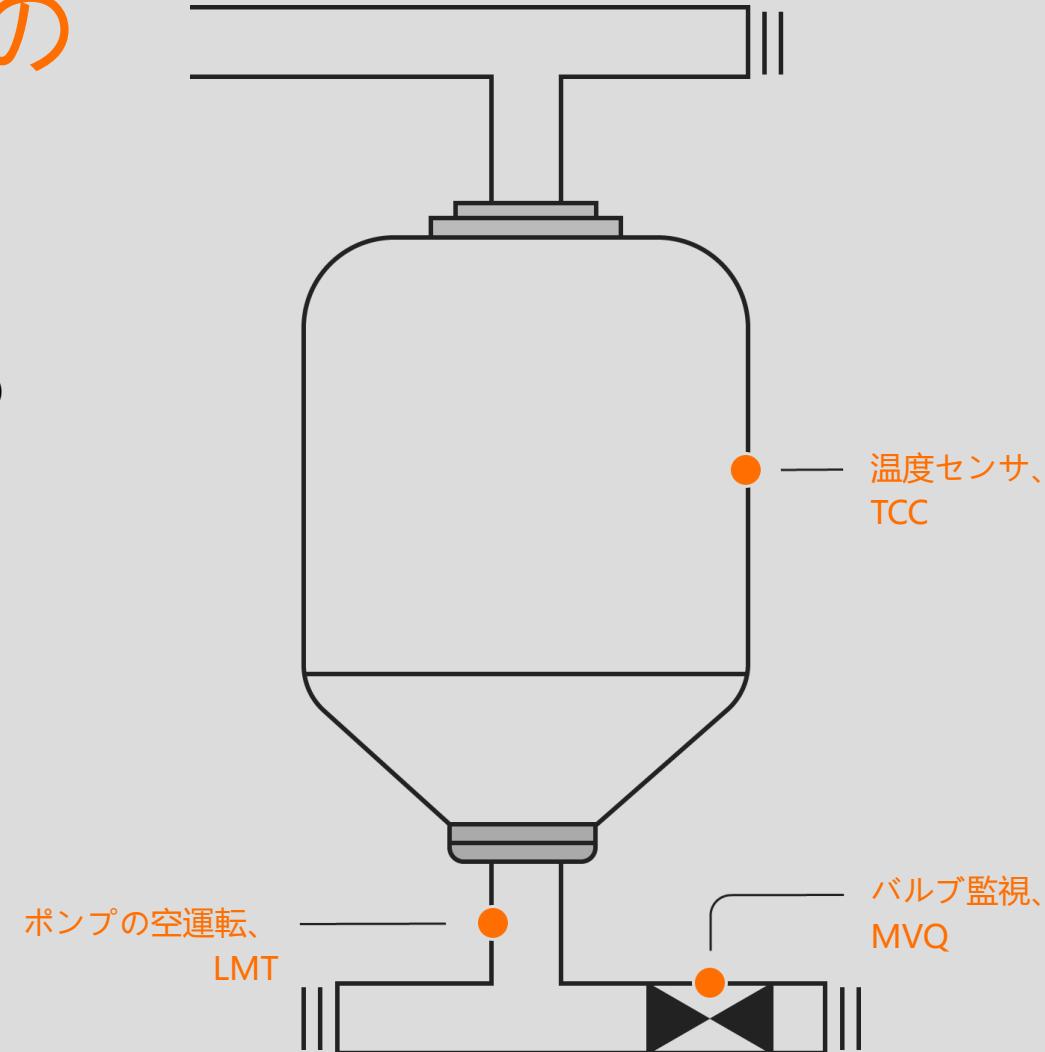
ポンプの空運転防止

システム内の媒体が不十分な場合、ポイントレベルセンサLMTがポンプをオフにします。



ifmのプロセスセンサ

メンテナンス、品質、校正、オペレータの要件を満たします



PI圧力センサ

ifm.com

